

株主の皆様へ

企画から物流まで
総合力を結集して
印刷需要の創出を目指します

平成28年6月

代表取締役社長 阿部茂雄



Contents

- 株主の皆様へ
- セグメント別事業報告
- 連結計算書類
- トピックス
- 会社概要
- 株式情報
- 株式事務のご案内

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第114期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の決算を行いましたのでご報告申し上げます。

■ 業績について

第114期の業績につきましては、売上高175億75百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益2億64百万円（前年同期比200.3%増）、経常利益2億73百万円（前年同期比186.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2億15百万円（前年同期は42百万円の純損失）となりました。

セグメント別の業績では、宣伝用印刷物の受注が伸張したことや、タッチパネル製造において、スマートフォン向けから車載用ナビゲーション向けへのシフトが進んだことで、印刷事業、電子部品製造事業、不動産賃貸等事業ともに前年同期に対して増収増益となりました。

一方、厳しさを増す環境変化に対応するため、グループ会社を含む社員に対し希望退職を募り、抜本的な合理化、市場競争力と収益の確保、持続的成長を牽引する体制づくり等、収益構造の再構築をめざしております。

なお、当事業年度の配当は1株につき5円とさせていただきます。

■ 企業価値向上に取り組んでまいります

印刷市場の縮小の中、主力である印刷事業を如何に支えていくかが中長期的な課題と考えております。縮小均衡傾向にある本業の回復をはかるための事業戦略を策定し、企業価値向上に取り組んでまいります。

■ 印刷事業の強化に注力してまいります

印刷技術をベースにして新たな商機を探求しております。得意先の要望を汲み取り、抱えている問題を解決するため

に、グループ会社を含めた様々なメディアと連動した仕組みや、付随する周辺領域業務を巻き込んだ仕組みの構築など、ソリューションサービスの提案に活動をシフトして、企画から物流まで総合力を結集して印刷物の需要創出に取り組んでまいります。

また、新規案件獲得のためのツールとして有効活用する意図のもと、当社ホームページをリニューアルしました。メインビジュアルのコンセプトは、「カラーの光村」として誇れる、印刷会社としての表現力や再現力です。多彩な色相環に重ねた鮮やかな花々は、社内で描き起こしたものです。

■ 川上戦略を強化しています

企画を含む上流工程からの提案営業の拡大の一環として、本社に隣接する撮影スタジオをリニューアルしております。企画、撮影、映像、制作サービスを一貫してクライアントに提供することが可能となり、化粧品をはじめとした日用品、流通分野での新たな需要開拓をはかっております。スタジオの稼働率も高く、カメラマンの増員や映像やウェブ関連の制作技術も活用することで川上戦略を強化していきます。

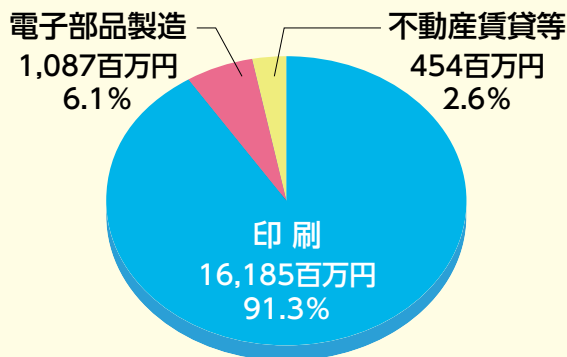
■ 最後に

印刷業界を取り巻く市場環境は引き続き厳しい状況が続くと見ており、次年度の売上高はほぼ横ばいを見込むものの経営効率化を更に進めることで収益の底上げをはかってまいります。

今後とも、皆様のご期待にお応えできるよう社員全員で一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様には引き続き倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、ひとえにお願い申し上げます。

光村印刷グループでは、広告宣伝物や新聞・出版、伝票、映像制作などを扱う印刷事業、フラットパネルディスプレイ製品やエッチング精密製品を扱う電子部品製造事業、本社ビル等の不動産賃貸や太陽光発電を扱う不動産賃貸等事業を行っております。

■売上高構成比

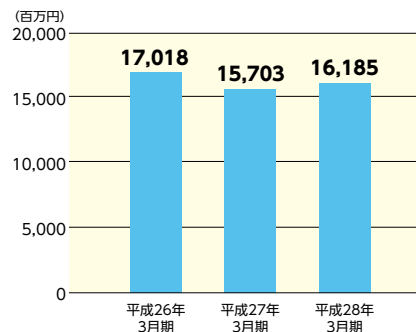


■印刷



宣伝用印刷物の分野において、上期に自動車メーカー向けのカタログ、パンフレットが伸張したことや、小売り・流通向けからの受注が堅調だったことに加え、子会社化した大洲の寄与により売上高は161億85百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益2億31百万円（前年同期比36.4%増）となりました。

■売上高

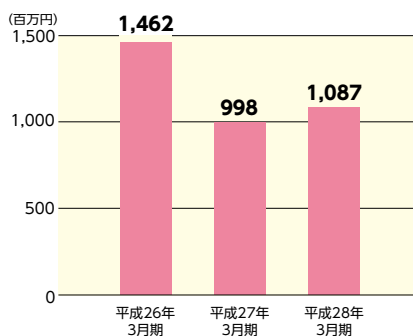


■電子部品製造



エッチング精密製品の売上減少はありましたが、タッチパネル製品において、スマートフォン向けから車載用ナビゲーション向けにシフトが進んだことから売上高は10億87百万円(前年同期比9.0%増)、セグメント損失2億95百万円(前年同期は3億65百万円の損失)となりました。

■売上高

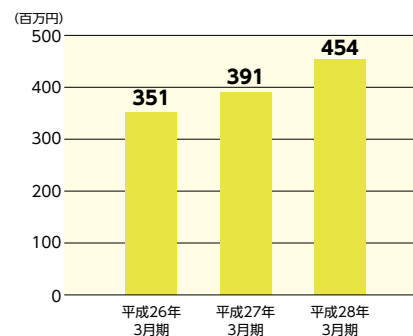


■不動産賃貸等



一昨年11月より太陽光発電事業を開始したことで、安定した収益を上げております。当分野の売上高は4億54百万円(前年同期比16.1%増)、セグメント利益は3億27百万円(前年同期比15.5%増)となりました。

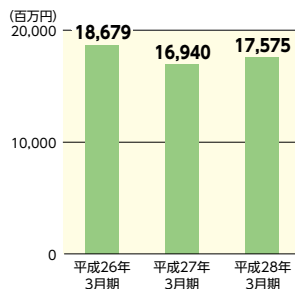
■売上高



連結計算書類

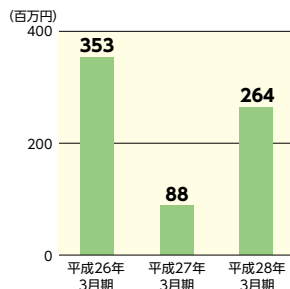
売上高

17,575百万円



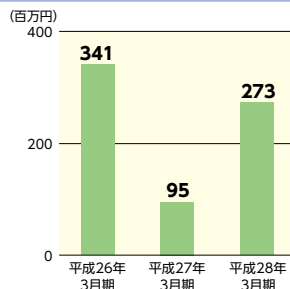
営業利益

264百万円



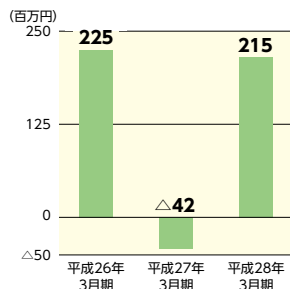
経常利益

273百万円



親会社株主に 帰属する 当期純利益

215百万円



連結貸借対照表要旨

(単位：百万円)

科目	前期末	当期末
	平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在
資産の部		
流動資産	6,109	7,079
固定資産	22,842	20,301
有形固定資産	15,681	14,738
無形固定資産	151	131
投資その他の資産	7,009	5,430
資産合計	28,952	27,380
負債の部		
流動負債	6,711	6,959
固定負債	3,974	3,155
負債合計	10,686	10,114
純資産の部		
株主資本	15,900	15,958
資本金	5,607	5,607
資本剰余金	4,449	4,449
利益剰余金	5,906	5,964
自己株式	△63	△63
その他の包括利益累計額	2,219	1,158
非支配株主持分	145	148
純資産合計	18,265	17,265
負債純資産合計	28,952	27,380

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結損益計算書要旨

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	平成 26 年 4 月 1 日から 平成 27 年 3 月 31 日まで	平成 27 年 4 月 1 日から 平成 28 年 3 月 31 日まで
売上高	16,940	17,575
売上原価	14,265	14,567
売上総利益	2,675	3,008
販売費及び一般管理費	2,587	2,744
営業利益	88	264
営業外収益	127	139
営業外費用	120	130
経常利益	95	273
特別利益	—	325
特別損失	58	232
税金等調整前当期純利益	37	365
法人税等合計	72	143
当期純利益	△ 35	221
非支配株主に帰属する当期純利益	7	6
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 42	215

来期の連結業績は、売上高 176 億円、
営業利益 5 億円、経常利益 5 億円、
親会社株主に帰属する当期純利益 3 億円を
見込んでおります。

また配当金につきましては、1 株当たり年 5 円と
させていただきます。

■連結包括利益計算書要旨

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	平成 26 年 4 月 1 日から 平成 27 年 3 月 31 日まで	平成 27 年 4 月 1 日から 平成 28 年 3 月 31 日まで
当期純利益	△ 35	221
その他の包括利益	1,043	△ 1,061
包括利益 (内訳)	1,008	△ 839
親会社株主に係る包括利益	1,000	△ 845
非支配株主に係る包括利益	7	6

■連結キャッシュ・フロー計算書要旨

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	平成 26 年 4 月 1 日から 平成 27 年 3 月 31 日まで	平成 27 年 4 月 1 日から 平成 28 年 3 月 31 日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,698	1,704
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 624	164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,021	△ 979
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減(△)額	51	889
現金及び現金同等物の期首残高	1,290	1,342
現金及び現金同等物の期末残高	1,342	2,232

品質への取り組みについて

当社グループでは、お客さまのニーズを適確に把握し、満足と信頼を得る製品やサービスを提供するため、品質の向上に取り組んでいます。当期は全社的な方針及び諸施策を審議・推進するため「品質管理委員会」を設置しました。そのほか作業標準書の整備・遵守はもちろん、印刷に関する幅広い知識と経験をもって品質のマネジメントを一貫して担うプリンティング・ディレクターの配置や、安定した印刷品質の証しである「Japan Color 認証」の取得など、総合的な品質管理体制の強化に努めています。



プリンティング・ディレクターによる品質の管理

メセナ(芸術文化支援)活動のご紹介

当社では企業コンセプトでもある「感動伝達」の多彩な実現を目指して、メセナ活動を行っています。当期は本社ビル1階のMGG(光村グラフィック・ギャラリー)において、「もじにぎり展」を開催しました。本展覧会は「寿司という日本が生んだコンテンツにもっとエンターテインメント性を！」と、広告や映像業界で活躍する小杉幸一氏、渡辺潤平氏、EDP graphic worksがタッグを結成し、寿司というトラッドな存在を多面的に和ポップに表現し、新たな寿司ワールドを創出しました。

※ MGGは無料でご覧いただけます。

※ 最新情報は当社ホームページ

(<http://www.mitsumura.co.jp/>)にてご確認ください。



「もじにぎり展」会場風景

■■ 品川区より永年継続事業所として表彰されました ■■

当社は創業から100年以上、品川区内で70年以上事業を継続している「永年継続事業所」として、品川区より表彰されました。品川区における経済や雇用を支えてきたという産業面での功績や、地域コミュニティに対する取り組みが讃えられての表彰です。

今年、当社は創業115年を迎えます。この表彰を励みに、印刷物を介した「感動伝達」という企業理念を、いま一度全社員が心に刻み、社業の発展に一層努めてまいります。



品川区居木橋から望む当社（昭和初期）

■■ 第57回全国カタログ展で文部科学大臣賞など4点が入賞 ■■

優れたカタログや図録を顕彰するカタログ展が開催され、当社が印刷した4作品が選ばれました。作品自体がデザイン性に優れ文化伝承に貢献する社会的価値があること、それに加えて確かな製版・印刷技術が認められるとして、文部科学大臣賞と松永真審査員特別賞をダブル受賞したのは、志村ふくみさんの作品集である『つむぎおり』です。人間国宝で染織家である志村ふくみさんが自選した着物作品と書き下ろしの詩を、極限までシンプルに織り込んだ集大成の図録です。



栄誉に輝いた『つむぎおり』

会社概要

商号 光村印刷株式会社
創業 明治34年10月20日
設立 昭和11年12月21日
資本金 56億788万円
従業員 単体682名、連結853名

事業所



本社

本社
〒141-8567
東京都品川区大崎一丁目15番9号
電話：03-3492-1181（代表）

大阪支店
〒541-0056
大阪市中央区久太郎町一丁目3番9号
三菱紙販ビル7階
電話：06-6266-5801

名古屋支店
〒460-0003
名古屋市中区錦三丁目7番9号
太陽生命名古屋第2ビル6階
電話：052-951-0621

川越工場
〒350-1165
埼玉県川越市南台一丁目1番地1
電話：049-242-4025

草加工場
〒340-0013
埼玉県草加市松江五丁目2番31号
電話：048-935-1201

那須工場
〒324-0036
栃木県大田原市下石上1378番7
電話：0287-29-2610



川越工場



草加工場



那須工場

役員（平成28年6月29日現在）

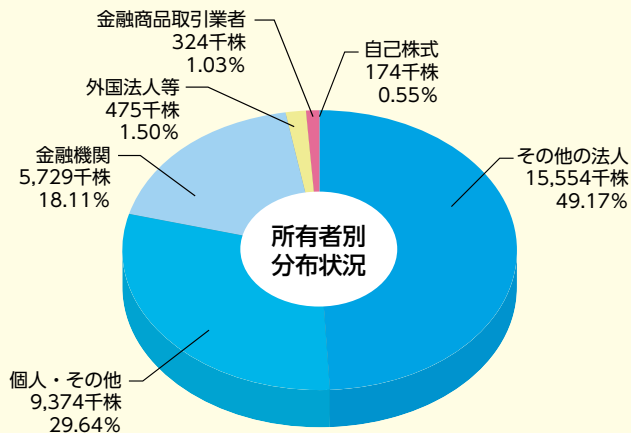
取締役会長	二瓶春樹
代表取締役社長 （社長執行役員）	阿部茂雄
取締役 （常務執行役員）	齋藤淳一
取締役 （上席執行役員）	嶋山芳夫
取締役	北條文雄
社外取締役	柴崎憲二
社外取締役	川名光治
常勤監査役	久富祥一
社外監査役	齋藤剛
社外監査役	半田常彰
常務執行役員	吉崎久
執行役員	柳沢一則
執行役員	辻明成
執行役員	檜垣浩
執行役員	谷川隆治
執行役員	石川浩之

（注）取締役北條文雄氏は、当社子会社群馬高速オフセット株式会社の代表取締役社長を兼務しております。
当社は、社外取締役柴崎憲二、川名光治及び社外監査役齋藤剛の3氏を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員に指定しております。

関係会社

株式会社光村プロセス
株式会社城南光村
光村商事倉庫株式会社
株式会社メディア光村
株式会社大洲
群馬高速オフセット株式会社

発行可能株式総数 99,478,000 株
 発行済株式の総数 31,634,203 株
 単元株式数 1,000 株
 株主数 2,935 名



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱製紙株式会社	5,117	16.17
DIC株式会社	4,570	14.44
株式会社読売新聞グループ本社	2,246	7.09
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,127	3.56
株式会社SCREENホールディングス	1,000	3.16
株式会社十六銀行	666	2.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	500	1.58
三菱UFJリース株式会社	488	1.54
株式会社みずほ銀行	450	1.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	447	1.41

(注) DIC株式会社の所有株式は、同社が退職給付信託の信託財産として拠出しているものであります。
 (株主名簿上の名義は、「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・DIC株式会社口)」であります。)

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 剰余金配当の基準日 3月31日及び中間配当の

支払を行うときは9月30日

定時株主総会の基準日 3月31日

定時株主総会の開催 毎年6月

公告の方法 電子公告

(<http://www.mitsumura.co.jp/>)
 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 電話 0120-232-711(通話料無料)

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 電話 0120-782-031(通話料無料)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について


株主様の口座を開設されている証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



 光村印刷株式会社 (東証一部: 7916)

〒141-8567 東京都品川区大崎 一丁目15番9号

〈ホームページ〉

<http://www.mitsumura.co.jp/>

右記のQRコードからもご覧いただけます。

